

大学名 富山大学

第74号 特集タイトル  
「未来社会に向けた教員養成」

表題 教育委員会と連携した早期教育現場体験による教育実践力の養成

富山大学では、従来の理論の講義や模擬授業を通じた教育に加え、教育現場の実践を早くから学生に経験させるべく、1年次から「学校体験活動」及び「子どもとのふれあい体験」を自由科目として開講し、また、富山県連携事業にも参画している。これらは、前身である人間発達科学部から成果をあげているもので、教育学部改組後も取り組みを進めている。

1年次からの早期教育現場体験機会を創出することで、教員を目指すモチベーションや資質の向上を図っている。

### 1 学校体験活動



92名中88名の学生が履修

学生が小学校へ延べ約20日程度赴き、アシスタント・ティーチャーとして、学級経営活動や子どもの支援活動を実施

満足度  
98.8%



参加学生

担任の先生の補助という立場での活動ですが、子どもたちからは「先生」として見られています。1つ1つの発言や行動が子どもたちに影響するかもしれないという意識を持つことが必要だと学びました。

### 2 子どもとのふれあい体験



92名中77名の学生が履修

社会教育や生涯教育分野等の複数テーマの中から選択し、小学校の放課後や休日の地域の子育て支援など、年間60時間の活動を実施

### 3 富山県連携事業【正課外】

正課外活動として県内教育委員会との緊密な連携・協力のもと、県内小中学校へ理科学習の支援を行う「観察実験アシスタント」等を実施

「学校体験活動」又は「子どもとのふれあい体験」のいずれかを履修した学生は、令和7年度公立学校教員採用選考試験(3年生)において、**合格率約90%**と高い水準を示している。



早期教育現場体験

教員を目指すモチベーションや  
資質の向上



学校体験活動



子どもとのふれあい体験